

私たちの西地域



手賀野 (手賀野上区, 第1区, 第2区, 会所ヶ丘区)

駒場 (第3区, 後田区, 松源寺区, 大峡区, 共栄区, 第4区, 第5区, 西ヶ丘区, 大平区, 山手区, 桃山区, 第6区, 第23区)

西まちづくり事務所 〒508-0015 中津川市手賀野173-1 サンライフ分館内

令和8年度 中津西地区の区長と役員です

～ 西地区のみなさん よろしくお願ひいたします! ～



《区長》 ※敬称略、下線は新任

手賀野上区：萩 義弘	第1区：近藤千明	第2区：岡本幸宏	会所ヶ丘区：桂川広幸
第3区：輪湖明夫	後田区：西尾福敬	松源寺区：長瀬 明	大峡区：五十嵐 修
共栄区：小森武彦	第4区：佐藤光司	第5区：大山 勝	西ヶ丘区：児玉光弘
大平区：斎藤正晃	山手区：八鍬保男	桃山区：加藤修己	第6区：伊藤俊一
第23区：西尾多津夫			

《区長会役員》

会長：佐藤光司、副会長：岡本幸宏・加藤修己、会計：八鍬保男、監事：輪湖明夫
顧問(市議会議員)：鷹見信義・櫛松直子

《関係委員等》

＊西地区社会福祉推進協議会
理事：伊藤俊一・桂川広幸 監事：佐藤光司・岡本幸宏
＊体協西支部 副支部長：近藤千明 ＊リニア対策 長瀬 明
＊中津西まちづくり協議会 副会長：児玉光弘
＊ぎおんぱジャンボリー実行委員会
委員長：佐藤光司 事務局長：加藤修己 委員：萩 義弘・西尾福敬・小森武彦
＊中津地区災害対策協議会 副会長：加藤修己 監事：西尾多津夫

市 集落支援員
(西地区担当 ⑥)
渡邊好夫



中津西まちづくり協議会総会を開催 新しい役員を承認



令和4(2022)年7月、市内15番目のまちづくり組織としてスタートして4年。約11000人が暮らす西地域としての公民館や出先事務所は未だ実現しません。これからも区長会をはじめ地区社協や学校との連携で、「つなげる・支え合う・守る・育てる」をモットーに西地域の横系をめざしていきますので、よろしくお願いいたします。



総会の様子(商工ホール)



挨拶する岡本会長



来賓の皆さんからお祝いの言葉を頂きました

[新役員]

会長：岡本幸宏 副会長：田島雅子・児玉光弘 会計：小栗 康 監事：石原 守
 部会長：渡邊好夫(総務) 輪湖明夫(住民福祉) 小川弘美(文化スポーツ教育)
 顧問：林茂富 ※安全安心部会は協議中

[R7 主な活動報告] ※詳細は西地区広報第21号～第23号をご覧ください(ホームページにもあります)

- ①環境活動 *区長会と連携し、家庭ごみの減量化を推進(雑がみ回収袋、ポスター・チラシ作成)
- ②防災対策 *西地区17自主防災会長らによる防災会議の開催、安心フェスタへの協力
- ③備品の活用 *ぎおんぱジャンボリーや地域学校連携活動



安心フェスタ等へ備品貸出し及び協力

- ④協働の生活環境づくり *希望された区へ資材等費用負担

⑤デジタルアーカイブ「昔の風景」

*写真やデータを活用して、地域の文化祭やサロン、学校授業に協力



- ⑥情報発信 *地域版広報の全戸配付を継続、ホームページ運営



- ⑦住民福祉 *生活支援団体への視察、西地区社協の「暮らしの便利帳」づくりへの協力



⑧教育文化

*「夏休み子どもと大人の作品展」共催、わくわく体験教室の開催

●各区の一次避難所(集会所等)へ折りたたみマットを配付しました

中津西まちづくり協議会は、身近な各区の集会所に折りたたみマットを10枚ずつ配付しました。広げた大きさは畳1枚より少し大きいですが、軽くて場所をとらないので災害時でなくても普段からサロンやお祭り・ギオンバの準備などでお使いください。

今後も区長会から要望をお聞きしながら、避難所の充実を支援します。

●各区へ雑がみ回収袋を配付します

可燃ごみの約4割が再生可能な「紙ごみ」といわれます。中津西まち協は西地区区長会と連携して雑がみ回収袋、ポスター・チラシを作成しました。各区のサロンや学習会、イベントなどご希望の方にお渡しできるので区長を通じてお申し込みください。回収用コンテナ箱も配付可能です。



●「夏休み 子どもと地域の作品展」 出品と来場をお願いします！

一昨年から開催しているみんなの作品展を今年も西小学校体育館で開催します。フロアは全校児童の作品が学年ごとに展示され、ステージ上に西地域の皆さんから出していただいた作品が並びます。

昨年は、絵画や絵手紙、バッグや吊るし雛飾り、木工品などのほか大きなバルーンアートや西在宅介護支援センター利用者のかわいい動物作品もありました。

平日は児童に、土日は地域開放として開催しているため、働いている保護者や祖父母も一緒にゆっくり見られると大変好評です。

開催日時が決まりましたらチラシ(出品申込票)を配布します。西地域のみんなで盛り上げていきたいので、ぜひ出品をお願いします。



●「地域安全ボランティア」(通称：見守り隊)に参加しませんか

朝の登校時、または下校時に「子どもの安全確保」や「犯罪防止」のため、中津川市防災安全課が市内の団体や地域に呼びかけているボランティア活動で、これに参加してくれている方たちを**見守り隊**と呼んでいます。西地区では社協(社会福祉推進協議会)が各区の見守り隊のお名前をまとめ、市へ代表団体として登録しています。

市は、全国市長会が運営する市民総合賠償補償保険に加入していますので、このボランティア活動で傷害を被った場合に対象となります。

参加していただける方は、緑の帽子とジャンパー等をお渡ししますので区長へお申し出ください。



西小学校にて子どもたちから感謝の言葉をいただきました

市「がんばる地域サポート事業」がまちづくり協議会の活動に よろしくをお願いします！

☆より場 ごはん場 ほっかほか 代表：丸山幸子さん

私たちチーム「より場 ごはん場 ほっかほか」は、西地区で活動するみんなの食堂です。カレーライスの提供を通じ、気軽に集える居場所づくりを目指しています。

食事前にはレクリエーションやかるた、三線(さんしん)演奏なども行い、高齢者サロンとも連携しました。

高校生ボランティアの活躍や食材寄付にも支えられています。

近くの集会所で開催する時は、お気軽にお越しください。



ボランティアの皆さん



みんなで一緒に美味しいカレーライス



☆つむぎ 代表：森内希美さん

「あたたかい繋がりの中で、一人一人が自分らしく生きられる未来を創りたい」という想いから、2025年より活動を開始した【つむぎ】です。

地域住民が繋がるお茶会を、毎月第4木曜 13:30~ひとまちテラスにて開催しています。

また、出産時の写真を展示するお産展では、いのちを感じ子育てを振り返る機会となって涙する来場者の姿も。

子育てをさらに楽しく♪

孤育ての解消、地域の活性化に繋がります。



グループのメンバーです→



お産展の様子

●全市的な課題「家庭ごみ減量化」と「広域ごみ処理施設建設」

ごみ処理の広域化に向けて建設候補地として6カ所が決定されました。

広報なかつがわ2026年5月号

多くの時間と様々な協議の場を経て西地域(駒場)に建設された環境センターは、平成16年(2004年)4月から運用開始したので既に20年以上経過しています。最終処分場の稼働期限が令和14年度、恵那市との広域ごみ処理施設の稼働は令和15年(2033年)です。

今後、各候補地で説明や話し合いが行われることとなりますが、両市のごみ処理量に対応する環境アセスメント、災害リスク、作業車等増大する交通量に対応する道路や安全確保など課題は多く、まちづくりという視点でも考える必要があります。

地域に新たな価値を生み、地域に貢献する施設を目指して 広域ごみ処理施設の建設候補地を決定

中津川・恵那広域行政推進協議会 広域行政課 (0573-26-1111)

中津川市と恵那市で進めているごみ処理施設の広域化・集約化について、中津川・恵那広域ごみ処理施設整備建設候補地検討委員会での選定を経て、次の6カ所を建設候補地に決定しました。

中津川市 ・駒場字西山 ・阿木字八屋碓

恵那市 ・大井町字観音寺 ・武並町竹折字早徳洞
・東野字白坂 ・三郷町野井字北山

今後は、地元説明会や意見交換会などを通して、地域の皆様との協議を重ねながら、最終的な建



市(駒場) 環境センター・最終処分場

西地域では、区長会との連携で家庭ごみの減量(雑がみ回収)を呼びかけており、地域版広報「私たちの西地域」の③⑥⑨⑫⑬⑭⑯⑰⑱⑳号、そして現在も環境記事の掲載を継続しています。

皆さんは中津川市の「一人当たりごみ排出量」が全国平均や県内市を上回っている状況が続いていることはご存じですか？

現在の施設を大切にしながら“ごみ減量化”と“ごみ出しマナーを守る”ことを家庭や地域全体でコツコツやっていきましょう！



●中津西地区「要望書」に対する市からの回答を抜粋してお知らせします

【主な要望】

1 サンライフ分館のバリアフリー化

◆トイレ改修(臭気、故障、和式)及び玄関に車椅子用スロープを設置にしてください。



⇒ 社会教育施設としての必要性は理解しますが、修繕が必要な施設が多くあり、緊急性の高い修繕を優先しています。

2 行政における“中津地区”のとらえかたを見直して

◆市町村合併という経緯はありましたが、これからは中津地区というひとづくりではなく、西、東、南というエリアで住民の生活や地域の姿を考えて行政を進めてください。

⇒ 合併から20年が経過する現在、これまでの出先事務所のあり方を検討する時期にさしかかっています。区長会やまちづくり協議会など、西、東、南で連携をとりながら進めてまいります。

3 家庭ごみ排出量の県内ワースト1が続く中、市がしっかりと分析と対策をとるべき

◆分析したデータや現状を市民にわかりやすく伝えるとともに、具体的な事業予算を計上して家庭ごみの減量化を主導してください。

⇒ 毎年「中津川市の環境」の中で公表し、徐々に減少しています。他市町村の先進的な取組など情報収集を行い、更なる減量、分別収集に取り組んでまいります。

令和8年度からは生ごみの減量対策として、木箱コンポストの導入補助を行い、今後は、プラスチック製品の分別収集・再資源化に取り組んでいきます。